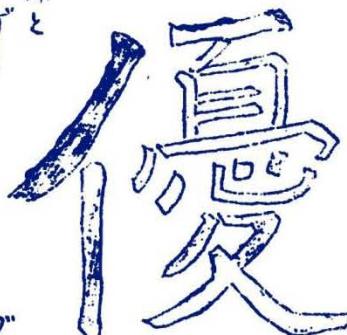


高津クラブの近況

生れて以来十余年、部誌発行を企画する
など近年とみに充実の度を増している我高
津ハニドボーリクラブも、先輩諸氏の長年
の苦労のかいあって、徐々ではあるが、日
本ハニドボーリ球界の「高津クラブ」を
目指し前進しつつある。そこで、最近
一年を中心とした我クラブの戦績を

國体大阪予選（於豊中）
準決勝 対雪陵ク、8対7
決勝 対大阪ク、7対21
攻守共に善戦むなしく完敗
し、二位に止まる。35年12月
、大阪総合選手権
二回戦 対三国ケ丘クラブ、
13対10で勝つ。ニルは優勝候補と
の対戦となり、白熱したシーソーゲー
ムを展開しえど、堂々ニルを押し切る。
準決勝 対大阪府立大学 11対8
高田大にはゴルキーパーに辻本九期、
ハーフのバツフと西氏が登場してお
られ、我クラブ攻撃陣は非常にやりにくか
ったが着実に得点してゆき、危なげなく勝ち



決勝 対松ヶ枝クラブ
対松ヶ枝クラブ
と対決で負けう。負傷者が
続出するなど悪条件も重な
り、又しても松ヶ枝クラブ
の若さとチームワークの良さ
に苦湯を飲まされ無念の大敗。
決勝では我クラブの宿敵・大阪ク
ラブが優勝した。二の大会に我クラ
ブ以前は黄色のユニホーム及び白
い袖と襟が黒のユニホームを共同使用
していたので、額田先輩へ五期生のデザイ
ン考案による、肩から腕にかけてライトブル
ーの線の入った白いモダーンな新ユニ
ホーミングとそろえて、登場したが、結局、
ホーム、新しいうえで、白のストッパー

利を納めろ。
決勝、対松ヶ枝クラブ 10対13
優勝を目前にしながら、ダーツホースとし
て前評判がよく、その上、学生陣で固め縛
り量の豊富さを誇る松ヶ枝クラブに勝ちを
うなげた。残念無念!!
36年1月、大阪室内総合選手権
一回戦 不戦勝
二回戦 対寝屋川クラブ 14対4
高校主体である寝屋川クラブを、試合
巧者ぶりを發揮し問題なく軽く一蹴
してしまった。

三位に止つた。36年8月、練習試合

対元紅飯田、17へ16、11、01、ノ
で快勝。夏休みでもあり、我クラブとして
は、ほとんど最強に近いモンバーで対抗。
この大阪実業団の雄丸紅飯田に圧倒的勝利。

36年11月 大阪総合選手権

二回戦 対三国ヶ丘、7ラブ

浅野12へ39、11⁵⁶、服部・石崎



現役へ高校生を使つて人數
をそろえうという苦しさだ
浅野の三氏が用事で抜けていて辛
勝辻本・高田氏の好アレーで辛
辻本氏の名へ述べバツクが光
て、準決勝 対寝屋川ラブ

り、後半には、一時七点差まで離した。
その後、二点差までにつめられたが、又
入れ返して結局一度も大阪ラブにて
勝り、ドさかうニとなく四点差をもつて初
シユターナーの浅野氏を中心とするフオワ
ド、巧守備のバツク、ゴールキーパー
と、若さで図ったチームワーフの良
さで遂に宿敵を倒し、多年の宿怨
が叶えられた。今年の国体でベビーベイ
ストエイトへ進むなど全国で活躍され
も常に上位にランクされ、大阪ラブを破ったことには、多くの苦しきを、
大阪ラブのチーム力の向上を示すものである。チーム力の向上を
結成以来、何度も苦しきを、
大阪ラブのチーム力の向上を示すものである。チーム力の向上を
歩んで来られた先輩諸氏の御努力、
やそれだけではなく、それらに基礎づけられてきた若さを、胸の中にしまい込んで
く喜ばしいことである。苦は樂の種と全けいで、ムをはるべ懶に又
れなう。找クラブの前途には幸々としたものがある。
つかない。全國制覇もまさに、そう遠い夢ではある。
あう。御期待あれ!!

昭和三十六年十二月二十日記